

# 六葉会 会報

vol.20



## INDEX

会長挨拶 六葉会会長 永野 肇	2
校長挨拶 校長 落越 道彦	3
OB対談 木立 眞行さん	4
退職職員現況報告	6
同窓会レポート(22回生)	7
石川雄治さん新聞記事掲載	8
関東学院創立125周年記念祝祭コンサート	9
六浦・三春台親睦ゴルフレポート	10
ホームカミングデーの案内	11
同窓会レポート(2回生)	12
同窓会レポート(4回生)	13
2回生ニュース「校訓との邂逅」から	14
新組織図	16
決算・予算報告	18
六浦祭の案内	19
関東学院六浦中学校生徒募集要項	20



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

<http://www.rokuyoukai.com>

## 新組織で活動を楽しく

六葉会会長 永野 肇

(第8回卒)



2008年3月には第55回生184名が卒業し、六葉会の会員数は一万二千名になりました。学院創立125周年を来年に控え、六浦中・高も記念事業の一環として、校舎の建替え(2号館・

理科館)工事が行われています。

六葉会の今年度に於ける大きな事業の一つが、校舎建設に対する目標3000万円の募金活動です。すでにご協力いただいた方もございますが、目標達成のために更なるご協力をお願い申し上げます。

通常の六葉会活動ですが、16ページに記載されています。新組織図と各委員会の紹介をご覧ください。また、六葉会のホームページなども合わせてご覧下さい。これらの事業を成功させるには、まず同窓生の名簿を充実させることです。クラス会、同期会、クラブのOB会などが開催された時、名簿

資料を提供いただければ幸いです。

さらに関東学院には燦葉会(大)、香葉会(旧女子短大)、橄欖会(三春台中高)、たんぼの会(三春台小)、しおん会(六浦小)の各同窓会からなる合同の組織があり、学院全体への関わりを持って活動しています。様々な活動に一人でも多くの方が、楽しく参加できる六葉会でありたいと思います。

なお、今回も表紙を9回生の島谷さんにお渡ししました。お忙しい中、快くお引き受けくださったことを心より感謝いたします。

# 着実な教育活動に向けて



校長 落越 道彦

六葉会会員の皆様には、ご健勝のことと拝申し上げます。また平素の本校のご支援を感謝いたします。

六葉会におかれましては、今年度、会長が野澤一良氏から前校長永野肇先生に代われ新役員人事のもと活動されております。前会長野澤氏は、その任期中、六穂会（保護者による後援会）の会長も兼務され、それぞれの組織の重責を担われてきました。その本校への働きに厚くお礼申し上げます。

会員の皆様はすでにご承知のように、現在本校では「理科館」の呼び名で親しまれてまいりました2号館を建て替え中です。これは2009年の学院創立125周年記念の本校の周年記念事業のひとつとして実施しております。耐震審査期間が長引き、当初予定よりも遅れてはありますが、年内に完成予定で工事は進んでいます。この

記念事業へ広く建設資金のご支援をお願いしておりますが、企業・団体も含め六葉会の皆様からは、八月末現在千二百万円を超えるご寄付をいただきました。ご協力下さいました皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

なお、教育環境面では、バリアフリー整備としまして、1号館にエレベーターの設置工事をこの夏休みから実施しました。

このような教育環境整備の推進と共に、教育内容の充実に向けて取り組んでいます。

1999年から実施してきた週5日制を来年度より6日制に改め、学びへの時間的な幅をより多く確保することにより、確実な学習効果の定着を目指します。

さらに、名実ともに併設型中高一貫校への準備を進めております。これにより中学校で高等学校の単位の一部を前倒しで取得が可能にもなります。中高六年貫教育の特色を制度的にも発揮出来るようにし、充実した学びに繋げてまいります。

関東学院大学とは、高大連携という新しい関係もできました。また、実際の受講者は数名と少ない状況ではありますが、平常の授業時間帯に高校生が大学に向向き、授業講義を受け試験等に合格すれば大学の単位も取得出来るというものです。この単位を取得した生徒が高校卒業後、関東

学院大学に進学した場合、大学でその単位を取得単位として認定されます。平常の授業時間帯にこれを行えるのは、同じキャンパスに立地し、本校の授業運営に可能な限り協力的である関東学院大学のおかげであります。

このような学習面における変革や試みは、関東学院の変えてはならない、キリスト教による人格教育という原則の基で培われる価値観、そしてこれらを土台として持つに至った自分の将来の夢や目的を実現可能ならしめる学力の定着を図る、これを目的としています。

今まで同様、クラブ活動などにも精力的に取り組んでいる生徒達がたくさんいます。この夏休み期間中に行われた中学校の関東大会には、弓道部、陸上部、水泳部が出場権を得て活躍しました。さらに弓道部は、全国大会にも出場を果たしました。また元気に学校生活を送っている生徒達に接していただける良い機会が六浦祭であります。今年の六浦祭のテーマを生徒会は「平和」と定めています。「平和」であるからこそ、安心して伸び伸びと活動出来ることを意識し、それに感謝する機会となることを期待しています。今年度の新入生たちも、六浦祭の準備に入っています。六浦祭へ、卒業生の皆様にもご来場いただきたくご案内申し上げます。



## OB対談

産経新聞顧問  
木立 眞行さん

平成20年8月25日(月)木立さんのアトリエにて

### 木立 眞行(関東学院六浦中学校・高等学校8回生)

▲写真左から、六葉会広報副委員長 長谷川巧(37回生)、写真右、六葉会元会長 西岡 義榮(14回生)

#### ■学校時代の思い出

**西岡** 本日は本校の卒業生の木立眞行さんに学生時代の思い出や社会人になってからのことなどお伺いします。思い出に残る先生とかいらつしやいますか。

**木立** 中学で白根新治先生、高校で村松信雄先生にご指導頂きました。高校時代の私は数学が苦手だったんです。みかねて村松先生が級友と私に関東学院大学の先生をつけてくれたんです。そうしたらですね、短期間で数学が好きになり出来るようになったんです。おかげで私は、文化系ですが数学を選択し大学に無事合格出来たのです。あの時に先生に巡り会つていなかったら今の自分はありませんね。

**長谷川** 良い先生に巡り合えることは本当に幸せですね。

**木立** 本当にそうです。また村松先生には、政治家になりなさい、政治は大事だよと教えられました。私は政治家になるのもいいだろうと思ひ、大

学に行きながら、当時の外務大臣の藤山愛郎さんの事務所に入り勉強させていたたいんです。そこには新聞社の人が多く来ていて、話を聞いてみて新聞記者という職業はおもしろいと思つたんです。政治家になるために新聞社に入るのもいいと思ひ、昭和39年、大学卒業後、産経新聞に入社したんです。

#### ■産経新聞の記者になる



**長谷川** 新聞社に入り、思い出に残つている政治家はいますか。

**木立** 「佐藤栄作日記」という朝日新聞から出ている本に私の名前が出ています。私は当時の佐藤総理に大変かわいがつていただいたんです。私

▲木立氏



▲作品「横浜 舟だまり」

族に支えられ体の弱い私がこれまで生きてこれたのは、神様が何か他のことをやれということかもしれません。私は定年に近づき会社を辞めてから何を

が食事しないで何うと総理が自分の食べるごはんを私に出してくれるんです。総理自身が食べるごはんがなくなつちやうのによすよ。総理は実いきびしい方でしたが、本当は心優しい人なんです。政治家というのは両面をお持ちなんですね。

### ■今後の人生について

西岡 これからの目標をお聞かせください。

木立 実は私は記者の時に脳内出血で3回も倒れたんです。過労が原因ですね。そして家族の大切さを知りましたね。最初に体がおかしいと発見してくれたのは妻でした。本当に妻と子供には感謝してますね。家

しようかと考えていたのですが、4年前に横浜そごうで開かれていた絵画展に偶然立ち寄つたんです。絵は今まで描いたことはなかったのですが、先生にお話を聞くと自宅の近くで学べるということですので入門し描き始めたんです。そして昨年、東京都美術館に100号の作品を出品して入選。そして美術年鑑の審査員の評価で1号、4万円という評価を頂きました。

### ■後輩へのアドバイス

西岡 たった4年で入選とはすごいことですね。最後に今の学生に一言お願いします。

木立 現在、ボランティアで「日本脳卒中協会」の理事の仕事をお手伝いさせていただいています。これは関東学院で「人になれ 奉仕せよ」という精神を学んだからです。私の体の中にしっかりとあるんですよ。この精神は大切に守って欲しい。そして若い後輩に言いたいのは、語学が大切であること。英語は大切です。しかもつ

と大切なのは国語です。日本語をしつかり勉強して欲しい。いきなりパソコンで打つより自分で考えをまとめ自分の文章を書くことが大切。そして探求心を持つて下さい。ふんばりも大切。ここ一番というときには目標に向かつてがんばり抜くことも必要ですからね。私のこれからの目標は立派な画家になることです。抽象画にも挑戦したいですね。お互い頑張ります。

西岡 今後も活躍を期待しています。本日はお忙しい中、ありがとうございます。



▲制作中の絵画の前で



長谷川 洋三

私と関東六浦との拘わりは、中高時代六年、教員時代四十二年、合計四十九年です。生涯の友を得、教育について

助言や指導を戴いた恩師や先輩と出会い、様々な意見を交わした同僚そして後輩との交わり、関東六浦で過ごした半世紀に及ぶ時間は、私の人生そのものと言っても過言ではないと思います。特に、この間に得た最大の宝は、数多くの卒業生と出会えたことです。同窓会などで三十数年振りに会った卒業生に「先生に教わって数学好きになつたよ」「先生のグレードに上がりたわいから一生懸命勉強したのよ」などと言われると嬉しくなります。「先生には、よく殴られたなあ。今でもやつてるの?」現在ではほとんどない話ですが、迷惑を掛けた生徒もいたのだからなあ、と思ったりもします。ある病院の帰りに、薬を求めて初めて寄った薬局で「長谷川先生、私、覚えてますか?旧姓○○です」「おお、懐かしいなあ」というような突然の出来事も教員ならではのです。

現在、母校は二号館(理科室)改築工事を行っています。母校へ行っても在学中にあった校舎が何もない、当時教わった先生も少なくなつてしまつたと思われ



鈴木 茂

卒業生も多いのではないのでしょうか。しかし、今まで培われてきた関東学院六浦のよさは、これからも後輩達に受け継がれて行くと思います。私共々見守つていこうではありませんか。

月日の経つのは早いもので退職してから、半年が過ぎました。非常勤講師一年を含め三十六年間、関東学院六浦中等高等学校にお世話になりました。中高で過した三十六年間の思い出は数多くあり何を書いたらよいか迷いますが、一番印象に残っていることといえばスキー学校(現在のスキー、スノーボードの前身)です。二十数年間引率し冬は燕温泉スキー場で十二月二十二日夜、集合し夜行で出発、二十八日早朝帰着という日程でほとんど固定していたように思います。また、春のスキー学校が行われた年もあり二年間に二回引率ということもありました。私は大学の四年生の時にスキー実習で初めて経験したくらいで初心者のようなものでした。そんな私が引率し生活面の指導はともかく、技術面の指導について自信がないのに生徒を教えなければならぬ立場になり不安



犬塚 志朗

で悩んだと記憶しています。今、思えば当時の様子が昨日のようになつてかしく思い出します。現在は残された人生を今後どう生きていくか自問自答をしながら生活している現状です。最後に関東学院六浦中等高等学校のますますの御発展をお祈り申し上げます。

大学生の頃、恩師や知人の父親の紹介で、地元愛知県岡崎市の市立中学校と県立高等学校の非常勤講師として二年勤めました。そして大学卒業後四十二年間、関東学院六浦に教員としてお世話になりました。この間、楽しさいっぱいでしたが、若気のいたり、未熟者の教師としてたいへん迷惑をかけてしまい、過去を振り返るたびに穴の中に入つてしまいたい心境になります。周囲の先生や生徒の皆さんに教え育てられた心からそう思っています。お陰で、教師として成長し、やっと二人前になりかけたところ定年退職となりました。

現在、思いがけず縁あつて、アレセイア湘南高等学校で非常勤講師として週四日、「初心にかえり、力いっぱい」努力しています。ストレスの多い複雑な社会

にあつて、多くの人が心身ともに病んでいます。その中で若い高校生に語り、訴え、励まし（実はその逆の、語りかけられ、励まされることが多いのですが…）ながら、謙虚に与えられた職場での使命を果たそうと思っています。

関東学院六浦の健全なる発展を祈ります。



加藤 芳信

この三月を以つて、昭和41年（1996年）から42年間の永きにわたる関東学院六浦での教員生活も定年を迎えました。ほんとうに、永かつたようでもまた短かつたようにも思われます。この1年半の間には卒業したクラス、学年やクラブの皆さんから慰労の会を開いて戴き、改めて、感謝と教師のよろこびを感じています。

半年が経つた今、某大学でお手伝いをしながら、のんびりと園芸や在職中から手を付けていた日本の数学の歴史、和算について同好の士と共に取り組んでおります。まだまだ当時の数学も解らないことばかりで自分の浅学を思い知らされていますが、気長に楽しくやっています。

在職中はクラス担当を最後まで、何事も細くとも、永く、そして、深く心を掛けていました。日光の千手ヶ浜の学校キャンプに毎年のおく参加し電気のない自然の中での生徒達との共同生活や山歩きは大自然とその生活の魅力に取り付かれました。また、広々としたグラウンドで風が吹くと砂埃が舞う中を、生徒と教員チームとのソフトボールの試合や、球技大会、中学の運動会での教員チームでの参加にうち興じたものです。楽しいことばかりではなく、就任してまもなく大学紛争が中・高にも影響して、生徒との対話、紛争の対策や学校の体制の論ずる会議が多くもたれ教育改革が進められました。このときの体験は今後の自分にとつて大変貴重なものとなりました。時代の変化に伴い学校の様子も変わります。現在では、少子化による社会情勢や教育環境が私学にとつて大変厳しい状況です。この状況を新しい体制のもとに卒業生の皆さんの母校の六中高がますますの発展することを願うばかりです。

六葉会の発展と会員諸氏のご健勝を心からお祈り申し上げます。



関東学院六浦中・高等学校

## 第22回生同窓会

竹中直人さんも参加しました。

9月7日(日) スカイビル27階の横浜クルーズクルーズにて第22回同窓会が行われ、竹中直人さんも参加しました。



東京新聞 8月20日掲載

# 「第42回まめ記者講習会報告」

49回生の石川雄治さんの記事が  
東京新聞に掲載されましたので  
紹介します。

関東学院六浦小学校教諭

石川 雄治さん (49回生)

第42回学校新聞まめ記者講習会  
(神奈川県私立小学校協会主催)  
が今月上旬、山梨県富士河口  
湖町の富士船荘で開かれた。  
同県や都内の私立小学校9校から  
約120人の児童(4、5、6年  
生)と先生22人が参加、新聞  
づくりや取材の仕方などを学ん  
だ。4回にわたって報告する。

## Aグレード4年生

Aグレードの対象は、四十  
一人の四年生です。割り付け  
や記事の書き方など、新聞作  
りの基礎を学びました。今回  
Aグレードの目標は、「何を伝



横浜市関東学院  
六浦小学校  
石川 雄治先生

## 第42回まめ記者講習会報告



A、B、Cの各グレードに分かれ  
て先生から説明を受ける児童ら

# 伝えたいこと明確に

えたいのかはついでです。  
初日、高野八海を取材しま  
した。最初は、そこに到着し  
てから出発するまでの、全部  
ら書くことを学びました。

の作業を書き出し、記事  
が多くありました。そこで、  
何を伝えたいのか、決めてか  
ら書くことを学びました。

ります。部屋から聞こえるの  
は、鉛筆の音のみ。夢中にな  
って書きました。

練習の結末しや友達の間  
に書き、全員が  
自分しに書けな  
い新聞を作り上げ  
ました。中には、

この学期をすく  
に吸収し、取材の  
中から価値ある情  
報を選択できるよ  
うになりました。  
二十秒で手が凍  
る 富士山の湧  
水)や「天然の浴  
房 晴夫などの原  
樹から雨」など、  
伝えたいことが明  
確になりました。  
二日目は、三時  
間連続で新聞を書  
き続けました。書  
くたびに上手にな  
りました。部屋から聞こえるの  
は、鉛筆の音のみ。夢中にな  
って書きました。

## 運動部活動報告

- 弓道部
  - 第19回関東中学生弓道大会
  - 女子団体準優勝
  - ・中学3年 北見優里亜
  - 山田 清香 梁 恩児
  - ・中学2年 成瀬 綾乃
  - 神奈川県中学生弓道大会
  - 男子個人 優勝
  - ・中学3年 小谷 拓也
  - 女子個人 優勝
  - ・中学2年 成瀬 綾乃
  - 右記の結果により、2名は全  
国中学生弓道大会へ出場
- 水泳部
  - 関東中学生水泳大会
  - 女子200m自由形
  - ・中学3年 坂本陽子
  - 2分15秒55
  - 陸上部
    - 第21回神奈川県中学通信陸  
上競技大会
    - 中学1年男子 1500m走
    - 優勝 山口 雄也
    - 4分34秒39
    - 大会 第21回関東中学校陸上競技  
大会
    - 中学1年男子 1500m走
    - 決勝10位 山口 雄也
    - 4分33秒41

# 関東学院創立125周年記念祝祭コンサート

平成21年、関東学院は創立12

5周年の記念すべき年を迎えます。

今年から来年にかけ、さまざまな

記念行事が実施されます。今年最

大のイベントは、10月6日(月)

などとみらい大ホールで開催され

る「関東学院創立125周年記念

祝祭コンサート」です。

プログラムは、ベートーヴェン

交響曲第7番、バッハのトッカー

タとフーガ、モーツァルトの「戴

冠ミサ」他です。

「戴冠ミサ」の合

唱には祝祭合唱

団がこの日の

ために特別編

成されました。

このコンサ

トには多くの六浦中高出身者・関

係者が企画から演奏まで携わって

おります。企画では3回生の吉澤

壽朗 現関東学院常務理事が推進

委員会のヘッドとして、実務では

アシスタントプロデューサーとし

て、6回生の加藤武さん、32回生

の横地康子さんの2人が、演奏で

は練習合唱指揮者として元教員の

坂井雅澄先生、そして祝祭合唱団

メンバーとして3回生から在校生

まで50数人が参加しております。

今年はプレコンサートですが、

来年は創立年の記念コンサートと

なり合唱練習は1月から三春台の

霞ヶ丘教会を主会場として、毎週

土曜日、午後2時から5時まで坂

井先生のご指導のもとに始まる予

定です。

グリーオーB、OGはもとより合

唱に興味をお持ちの多くの卒業生

の参加をお待ちしております。

(6回生 永嶋孝彦)



第3回 関東学院三春台・六浦卒業生



# 親睦ゴルフ大会開催される

2008年6月5日 於キングフィールズゴルフクラブ

第3回 関東学院三春台・六浦校

卒業生親睦ゴルフ大会は、今回も六浦7回卒の鈴木さんが経営されるキングフィールズゴルフクラブで行われました。鈴木さんには数々のご支援をたまり改めて感謝申し上げます。

次回、第4回 関東学院三春台・六浦親睦ゴルフ大会は2009年6月4日(木)に開催予定です。四年目である次回も多くの方に参加いただきたいと思えます。参加希望の方は7回卒武田正雄までお願いいたします。

TEL 045(321)5345

## お知らせ

### 第2回 関東学院六浦 中学・高校 卒業生親睦ゴルフ大会のご案内

主催 六葉会

運営 六葉会企画委員会ゴルフ事務局

日程 2008年11月13日(木)

会場 キングフィールズゴルフクラブ

千葉県市原市新巻377番地

電話 043(636)6111

六浦の卒業生のみ参加出来ます。お一人でも参加出来ます。奮っての参加をお待ちしています。参加希望者の方は7回卒の武田正雄までお願いいたします。

TEL 045(321)5345

FAX 045(324)0242

振込銀行 横浜信用金庫本店

普通 668749

関東学院六葉会 ゴルフ幹事 武田正雄



第5回

# ホーム カミングデー

2009年3月14日(土) 午前11時より  
母校礼拝堂

今回のホームカミングデーは  
23回卒(昭和50年卒業)～28回卒(昭和55年卒業)の  
皆さんを中心にお招きします。



どなたでも参加できますのでお誘いあわせの上ご来校下さい  
懐かしい先生方も多数ご招待しております♪

親睦会費 1,000円(当日お願いいたします)

## お知らせ

今回のホームカミングデーから、母校の草創期を築いた1回卒(昭和28年卒業)～10回卒業(昭和37年卒業)の方々を毎回お招き致します。何卒、奮ってご来校下さい。

## 第2回生同期会

「春の同期会を  
皆で楽しみにしています」

私達第2回生の中学入学は敗戦後間もない昭和二十三年四月でした。

まだ戦後の混乱状態が治まってはいない頃で全ての生活必需品が不足していた時代でした。

毎日食べるお米も不足してしましたので食糧管理法という厳しい配給制度があつて米穀通帳が無ければお米を買うことが出来ませんでした。

中学3年生の秋に日光へ一泊の修学旅行に行きましたが、各自が決められた量のお米を持参して旅館の大きな米櫃に皆で一斉に入れたことを記憶しています。白い米や、やや黒い米など、様々な種類の米が一緒に混ざりました。

通学に利用していた京浜急行の電車の座席も硬い板張りで、ひどい混

雑の時にはこの座席の上にも人が立っていました。

中学に入学して二年生になる頃には戦災のために使用不能になっていた三春台の校舎の一部復旧が成つたようので、二年次以降の途中で三春台へ移る生徒もかなりありました。六浦での中学卒業後に三春台へ移る生徒もかなりあつたと思います。

このため、私達の「六浦第2回生中学・高校同期会」は中学の途中で三春台へ移つた人、六浦で中学卒業後に三春台あるいは他の高校へ進んだ人、高校から六浦へ入学して卒業した人など様々で、前述の混ざり合ったお米のようですが、毎年春四月恒例の同期会を皆で楽しみにしています。

(清水 尚 記)

平成20年4月16日 於崎陽軒本店



## 第4回生同窓会 「古希を迎えた同窓会」

第4回生（1956卒）年同窓会を、6月20日13：00より、中区ロイヤルホールヨコハマで開催しました。全員が古希を迎えました。

中学校入学時は、男子100名女子50名で計3クラス150名だったと思います。それが高校卒業時には、120名になっていました。

今回の同窓会には、生徒36名が出席しました。2年前の同窓会と今回の間に、小島二郎君、深谷建一君が逝去され、体調不良による欠席者も多くなってきました。淋しいことです。

しかし、元気な人たちが集まり、ご出席いただいた、伊藤清先生、村松信雄先生、坂井雅澄先生を囲

んで、昔話に楽しいひと時を過ごしました。生徒たちが古希を過ぎ、外見では、先生と区別がつかなくなり始め、中には、先生方と逆転して見える生徒もずいぶん増えて来たようです。

そして「次回まで元気にな」と再会を約して、解散いたしました。例によって、三々五々二次会へ繰り出した人たちもいたようです。次回も、欠ける人のないよう、元気に集まるとよいと考えます。

（幹事 山本 維行）



平成20年6月20日 於ロイヤルホール横浜



月日が経つのは早いもので、第一線の職場を離れたり、退職したりしてから約十年の歳月が流れた。関東学院中・高時代に特に仲のよかった阿部賢司さん、中村巖さん（愛称「村さん」）、増田崇さんと私の四人は、還暦の年から毎年一回、国内旅行に行くことにしている。

昨年の秋の旅行は、体調を崩したり、急に都合が悪くなったりして、村さんと二人で出かけることになった。

旅行先は、群馬県の富岡市と多野郡上野村である。私は高崎まではJRで行った。村さんは、改札口の近くに立って、ニッコリ笑いながら手を高く上げ、振っていた。

駅付属の駐車場から村さんのマイカーに乗り、まず、関東学院の先輩が眠る富岡市の市民霊園を目指した。この先輩のお墓参りについては、数年前、村さんから次のような手紙を

頂戴し、是非、そのお墓に何ってみたいと思っていたからである。村さんからの手紙は次のとおりである。  
(前後省略、原文のまま)

「ある日新聞の折り込み広告を何気なく眺めていたら、墓石屋さんの墓石が、ニューデザインお墓コンテストのデザイン賞に入選したとあった。知らない人には何ともないかも知らんが、我々には直ぐピンと来る文面でそれも富岡市民霊園にあるという。早速カメラを持って撮って来たのがこの写真である。撮ったついでに墓石の持ち主の所（市内で花屋を営んでいる）を訪ねて、いきさつを伺った。

現在の店主の父親が横浜にいた伯父を頼って住み込みみたいなことをしながら関東学院を卒業したという。富岡に戻り花屋を営みながら地元の教会活動に尽くし、亡くなった。

生前その父親が、何かにつけてこの言葉を言っていたことを思い出し、このデザインを考えたとの事でした。六年間、この言葉を聞きながら何も出来ない者と、未来にその精神を語り継ごうとする者との落差を考えさせられました。」

墓地は、富岡市上黒岩という所にあるが、途中で花屋に寄って、二人で一束づつ秋の花束を買い、小高い丘の上にある霊園に向かった。車は利根川の支流である高田川を何度か横切り、丘をひとまわりするような急な坂道を通って頂上に着いた。その霊園は、北に榛名山、北西に浅間山、西に岬峨たる巖を連なる妙義山が眺望できる景勝の地にあった。墓場は仏教区域、キリスト教区域等に分かれ、キリスト教区域の中心には、隣町にある甘楽教会の合同式納骨堂があった。納骨堂の南約十五メートルの所に吉村家のお墓があった。真中には先祖の墓、左側には先輩に当たる吉村慎太郎氏の墓石があった。その墓石



◀吉村慎太郎氏の墓  
“人になれ 奉仕せよ”の文字が

は写真のとおりであり、“人になれ 奉仕せよ”と刻まれていた。

何と高尚で簡潔な校訓ではなからうか。その言葉を、先輩は訪ねて来る人や通りすがりの人々にも、未来永劫、無言で語りかけているのである。村さんの手紙の文面どおりだと、しみじみ考えさせられた。我々は先輩に想いを馳せながら、花立を洗い、心ばかりの花を手向けた。

先祖の墓石の右側には、イーゼルを横した御影石製の過去碑があった。

吉村慎太郎氏の人物を更に知りたくなり、暫くして、花屋の家業を継いでいる三男の隆氏に連絡をとり、話を伺うことができた。

「父、慎太郎は富岡の生まれです。高等小学校を卒業後、横浜のYMCA

に付属していた共愛館にいた伯父を頼って横浜に行きました。そこで仕事を手伝いながら、関東学院を卒業しました。富岡市に帰郷してから、一九六七年頃に花屋を

開業しました。家業のかたわら、甘菜教会に所属し、地域の活動や社会奉仕を行っていました。父は信念を曲げない人でしたし、頑固なところもありました。校訓の字は、関東学院の初代院長の坂田祐先生から、直接頂いたものです。額に入れて座敷に飾り、座右の銘とし、朝な夕な心に留め、人生の道標としていました。また、父が共愛館に勤めていた頃、その職場に銀座の日動画廊を創設した長谷川仁氏がいて、洋画の手ほどきを受けたのだそうです。父は趣味として楽しそうに油絵を描いておりました。父の墓を建立する時、兄弟で相談しまして、父と共に生きてきた校訓を墓石に刻み、過去碑は、父が愛用していたイーゼルをモデルにしたわけです。」

隆氏の言葉にまた感動した。慎太郎氏の生き方は、ご子息達にこれほどまで深く受けとめられていたのである。

その後、関内にある横浜YMCAを訪ねた。事務局の職員は、吉村慎太郎氏の伯父である静一郎氏が、共愛館の主任をやっていたと教えてく

れた。共愛館とは、関東大震災の直後、県が独身青年達に住まいを提供し、その管理をYMCAに委託していた。部屋数四〇、約百人がいたという。

更に慎太郎氏の足跡を知ろうと、関東学院三春台の橄欖会事務局を訪ねた。橄欖会の名簿によると、吉村慎太郎氏は、一九三一年に中学部8回生として卒業していた。同期の卒業生は百十四名である。

この事務局の隣室には、立派な校訓を遺し、実践した初代院長坂田祐先生の坂田記念館（一〇八㎡）があった。記念館は一九九〇年六月に竣工されたものである。室内には直筆の“人になれ 奉仕せよ”の校訓を中心に、多数の歴史的な写真、先生が愛用されていた遺品、内村鑑三氏が始め、やりとりされた多数の手紙や書物が展示されていた。

横浜の地を遠く離れ、富岡市民霊園にある吉村慎太郎氏の墓石は、わが遠きみおやの教えを守り、“人になれ 奉仕せよ”をつらぬきとおした人の証なのである。

# 今年度の六葉会の組織について

幹事長 伊藤 由季子

今年度の特徴といたしまして、5つの委員会と2つの実行委員会を位置づけることで、更なる具体的な事業展開が行われればと願っています。

各委員会の委員長は、初めてのことで、各個人にお願いをして選任させていただきましたが、会の運営に従い、みなさんの自薦、他薦、合意を得た組織作りを目指し、志を一つに頑張っていくところですので。

そのようなこともありまして、当会報では、委員会の種類をお知らせいたします。

1 回卒業から、55回卒業のみなさまには、それぞれの卒業時の幹事様の確認をさせていただき、今後は、クラス会、同窓会、クラブ活動など、関東学院の同窓生の幅広い活動の場として、みなさまに身近な六葉会であるように努力してまいります。

## 委員会

### 1. 卒業生支援委員会

(ホームカミングデー実行委員会)

卒業生に向けて、必要なことお

役にたてることを目指して、学年同窓会やクラブOB会などが活発になるイベント等、六葉会が立てた企画を実践に向けて活動する委員会です。

### 2. 母校支援委員会

母校支援の募金活動だけでなく、母校の六浦祭に於いて、六葉会の部屋を設置します。

2008年の六浦祭は、10月24日(金)25日(土)です。

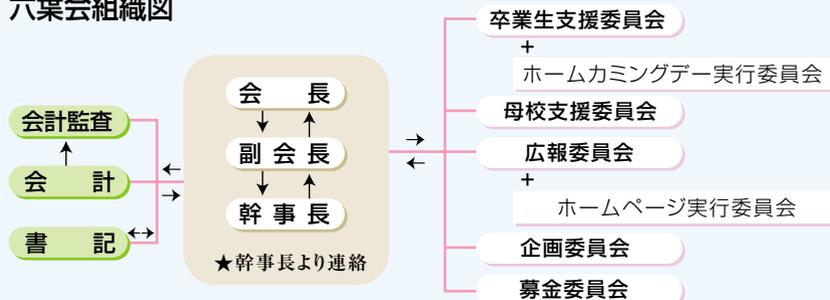
在校生と混ざり、卒業生の方々も、この機会にぜひ足をお運びください。

### 3. 広報委員会

(ホームページ実行委員会)

年1回の会報、ホームページ公開内容などを吟味し、卒業生との接点を持つ公開の場を提供していく委員会です。

## 六葉会組織図



住所管理に関しまして、学校との連携をとっていますが、個人情報

の守秘義務を遵守していますので、ご連絡の絆となる住所変更などのご連絡は、ぜひ六葉会ホームページにてご連絡ください。

### 4. 企画委員会

卒業生のための、卒業生が喜ぶ内容を、卒業生支援委員、母校支援委員、広報委員と共に話し合い、活性化していく企画を立てていく委員会です。

### 5. 募金委員会

関東学院125周年の記念行事、2号館建替え工事に当り、特別委員会として設置されました。

## 実行委員会

### 1. ホームカミングデー実行委員会

毎年実施する定例イベントとして実行していく委員会です。

卒業生支援として、2009年3月14日(土)に、ホームカミングデーを実施します。

一人でも多くの方が、学校にご来場できるようにご案内いたします。

### 2. ホームページ実行委員会

六葉会と会員との絆になる情報の場となるようなホームページ運営を行う委員会です。



## 六葉会2007年度 決算報告書

### 収入の部

科 目	2007年度予算	2007年度決算	増減	備 考
5 5 回 生 会 費	2,721,600	2,721,600	0	189名
5 6 回 生 入 会 金	374,000	368,000	△6,000	184名
維 持 会 費	1,300,000	1,172,000	△128,000	
卒業生の集い会費	0	0	0	
そ の 他 の 収 入	0	1,150	1,150	受取利息
繰 越 金	1,000,000	1,000,000	0	
収 入 合 計	5,395,600	5,262,750	△132,850	

### 支出の部

科 目	2007年度予算	2007年度決算	増減	備 考
<b>運営費</b>				
会 議 費	200,000	132,000	△68,000	幹事会・総会
印 刷 費	30,000	26,250	△3,750	幹事総会往復葉書
通 信 費	50,000	50,300	300	葉書など
消 耗 品 費	900,000	804,591	△95,409	名簿管理費含む
慶 弔 費	150,000	45,000	△105,000	4件
卒 業 生 支 援 金	200,000	150,000	△50,000	16件
合 同 同 窓 会 分 担 金	68,000	67,800	△200	
活 動 費	200,000	160,494	△39,506	前年度HCD
雑 費	40,000	37,360	△2,640	振込手数料
<b>事業費</b>				
会 報 印 刷 費	1,050,000	1,146,600	96,600	
会 報 発 送 費	750,000	768,270	18,270	再発送費含む
行 事 費	100,000	11,255	△88,745	六葉会の部屋
生 徒 会 支 援 金	150,000	150,000	0	
積 立 金	500,000	712,830	212,830	
予 備 費	1,007,600	0	△1,007,600	
支 出 合 計	5,395,600	4,262,750	△1,132,850	
時 期 繰 越 金		1,000,000		
合 計	5,395,600	5,262,750	△132,850	

学 校 へ 行 こう  
**六浦祭**

中学校舎(1号館)3階 2年4組

**六葉会の部屋**

**10/24(金)・25(土)開催**

OPEN 9:00 / CLOSE 16:00 (25日は15:30)

10月24日・25日の2日間六浦祭が開催されます。卒業生の部屋として「六葉会の部屋」を今年も設けます。門を入れて正面にある高校校舎です。卒業アルバムを全学年そろえて展示しています。現役の生徒にも先生の学生時代の写真がみることができるとあって毎年好評です。是非、足をお運びください。場所は1号館3階です。

校内各エリアでの催し物情報

**礼拝堂**

吹奏楽部の発表・ミニライブなどが行われます。

**【吹奏楽部】**

10/24・25

**【清水玲ミニライブ】**

10/24 午後

**【関六エンタ(仮称)】生徒の催し物**

10/25 午前

※吹奏楽部の演奏時間はお問合せください。

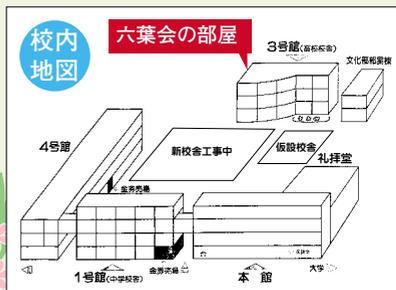
入試相談コーナー(3号館2階)

今回も入試に関する相談コーナーを設けました。入学試験のこと、本校の学校生活のことなど、担当の教職員が対応します。是非、ご相談ください。

2008六蹴会&現役サッカー部 交流試合

在校生とOBとの交流や、六浦と三春台との親睦を深める目的で開催される2008六蹴会&現役サッカー部 交流試合を行います。皆さんふるってご参加下さい。(雨天決行)

- 開催予定日 10月25日(土)
- 場 所 関東学院六浦グラウンド
- 集合時間 (OB集合) AM10:00
- Over40  
10:30~ OB vs 中1・中2 (20分ハーフ)
- Under25+高校3年生  
11:30~ OB vs 中3・高校 (30分ハーフ)
- Over25  
12:30~ OB vs 中2・中3 (25分ハーフ)



2009年度（平成21年度）

# 関東学院六浦中学校生徒募集要項

		A 日程	B 日程	C 日程
募集人員		60名(男・女)	40名(男・女)	30名(男・女)
いずれも本学院六浦小学校からの進学者を含みません。				
出願資格		・2009年3月小学校卒業見込みの者 ・本校の教育基本方針に賛同する者 (教育基本方針の抜粋は「学校案内」に、全文はホームページに掲載されています。)		
出願期間	1月	1月9日(金)～1月31日(土) 8:00～15:00 ※1月11日(日)・1月12日(月・祝)・1月18日(日)・1月25日(日)を除く		
	2月	2月1日(日) 8:00～18:30 2月2日(月) 8:00～14:30	2月1日(日) 8:00～18:30 2月2日(月)～2月4日(水) 8:00～15:00 2月5日(木) 7:30～8:30	
出願書類		入学志願票・受験票(本校指定)		
入学検定料		20,000円(銀行振り込み、1月の出願期間中の土曜日および2月中は願書受付窓口でも可)ただし、1月の出願期間中に、2種類または3種類の試験を同時に出席する場合の検定料の合計は、一律30,000円とします。		
入学試験日		2月1日(日) 午前	2月2日(月) 午後	2月5日(木) 午前
試験科目と時間	開場	7:50	13:30	7:50
	集合	8:35	14:50	8:50
	国語	8:50～9:35	15:00～15:45	9:00～9:45
	算数	9:50～10:35	16:00～16:45	10:00～10:45
	社会	10:50～11:35	17:00～17:50	11:00～11:50
	理科	11:50～12:35		
全日程とも、4科目(国語・算数・社会・理科)				
合格発表表	インターネット	2月1日(日) 17:30～ 2月2日(月) 11:00	2月2日(月) 21:00～ 2月3日(火) 11:00	2月5日(木) 16:00～ 2月6日(金) 11:00
	本校掲示	2月1日(日) 17:30～18:30 2月2日(月) 9:00～11:00	2月3日(火) 8:00～11:00	2月5日(木) 16:00～17:00 2月6日(金) 9:00～11:00
入学手続	入学手続時納付金 入学金 230,000円 特別施設費 200,000円			
	2月1日(日) 17:30～18:30 2月2日(月) 9:00～11:00	2月3日(火) 8:00～11:00	2月5日(木) 16:00～17:00 2月6日(金) 9:00～11:00	
	特別施設費は、2月5日(木)まで延納可能です。 延納納付期間 2月3日(火)、4日(水) 9:00～14:00 2月5日(木) 9:00～11:00			
入学手続時納付金を完納された方で、2月7日(土)15:00までに入学を辞退された場合、特別施設費を返金致します。				
授業料など	毎月納入するもの(2009年度予定)			
	納付金	納付金		その他の納付金
	① 授業料	32,000円	① 六總會費(後援会)	2,300円
	② 維持費(校費)	5,300円	② 六葉会費(同窓会)	200円
	③ 施設費	8,500円	③ 生徒会費	500円
		45,800円		3,000円
※授業料などは在学中に改定されることがあります。				

\* 提出された書類、納入された入学検定料・納付金はお返し致しません。

## 維持会費のご協力をお願い

2009年度の維持会費の納入をお願いしております。六葉会の運営に是非ともご協力下さい。納入は同封の郵便振込用紙をご利用の上4,000円(手数料別)お振込下さい。よろしくお申し込み申し上げます。(コンビニエンスストアのATM機からも出来ます) 銀行名: ジャパンネット銀行(銀行コード: 0033) 支店名: 本店営業部(支店番号: 001) 口座番号: 4543584 口座名義: 関東学院 六葉会(カントウガクイン ロクヨウカイ)

■ 関東学院六葉会 〒236-8504 横浜市金沢区六浦東1-50-1 ☎045(781)2525

印刷・(株)エイコープリント 2008.9.30発行